

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2022年3月15日

事業所名 なぎさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	ガイドラインに沿った広さではありますが、身体を動かしたいお子さんが多く、スペースが足りない状況です。けが等に繋がらないよう室内では制作活動を取り入れ、新聞紙やストローなどを準備しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	ガイドライン以上の人員配置でサービスを提供しています。 活動の内容を見直し、職員も安心してお子さんたちの支援に臨めるようにしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	ガイドラインに沿って、修繕や工夫で出来るバリアフリーは行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	日々支援後に支援の内容、物の配置等も含め改善箇所を検討しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	情報共有に至らない箇所があったと感じます。 会議、振り返りのあり方、取り組み方を見直し、情報共有をしっかりと行っていきます。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	必要な研修に行ってもらえるように声を掛けています。 コロナ禍で大きく「研修」と銘打っては行えておりませんが、事例や常勤職員が受けた研修内容をお伝えするなどの工夫を行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者の方、ご本人の想いやご要望をお聞きし、職員間でアセスメントを行いながら作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	個別支援計画や利用者登録カード、アンケート等をもとに支援を行っています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	現在、常勤職員が中心で行っております。今後は非常勤職員にも輪に入ってもらい、活動を検討して行けるようにします。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	大枠のプログラムは決めておりますが、週ごとに身体を動かす活動や制作等工夫をおこなっています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇中は「いつもと違う体験」ができるような工夫を、平日は学校後の様子に応じた支援を行えるようにしています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動は「チャレンジ」や「制作」などを取り入れて計画を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	開始前に時間が取れない時は、ホワイトボードの活用を行い、各担当がわかるようにしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	色々な利用者さんのお話ができるように、こちらからお願いしてお話をしていきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録はしっかりとつけてもらって、内容の確認は常勤職員のみが行い、必要に応じて情報は共有しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	面談やお迎えの際にお話をお聞きして、計画見直しの判断をしたいと思っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	ガイドラインを見える化し、複数を組み合わせさせて支援ができているか、職員全員で確認していければ良いと思います。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当者会議には、基本的に責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	必要に応じて、学校(担任の先生)や学童とのやり取りを行っています。 ※緊急時の際にも、連絡をお願いできるようにしています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療ケアの必要なお子さんはおりません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	同法人内の事業所を利用されている方が多い為、共有できています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者の方や他事業所の必要に応じて、情報を提供しています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	現在はコロナ禍で連携できておりませんが、今後研修等をお願いしていきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の公園での交流が少しある程度です。今後、感染症の状況に応じて交流の機会を検討していきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	協議会には、グループ長が参加をしています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お迎えの際に利用者さんの様子をお伝えし、情報を共有しています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングと呼べる内容では行っておりませんが、保護者の方を支援られるように「私たちが行っている支援についての説明」「利用者さんに合った対応」等を意識して活動しています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をさせていただいています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方を支えられるように、常勤職員は「お話をお聞きする」「支援についてのアドバイスをする」等を意識しています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナ禍ということもあり、企画ができずにおります。状況にあった保護者の方同士の連携ができる場を検討していきます。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	ご指摘頂いた内容については職員間で共有し、迅速に対応ができるように心がけています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	お便りやお手紙を定期的に発信し、活動を報告しています。また、お迎え時にもお伝えしています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	情報に関しては、気を付けるよう周知しています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	サインや写真カード、お手本を示す等、利用者さんに内容が伝わりやすい様な工夫を行っています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	見学等で、いつでも見てもらえるような環境を設定しています
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	見やすい場所にマニュアルを掲示するなどしています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に火災、地震、水害を想定した訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	毎年、春に虐待防止の研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束については支援計画に記載し、また契約時等にもお伝えしています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にアレルギー確認表に記入いただき、対応をしています。 現在、医師の指示が必要な方はいません。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットはファイルにして見やすい場所に置いています。